

株式会社ミナミテック

企業概要

- 所在地:兵庫県尼崎市尾浜町1丁目15-10 ○TEL:06-6426-9231 ○設立:昭和45年2月1日 ○代表者:代表取締役 南 友広
- 従業員数:25人(平成30年6月現在) ○資本金:1,000万円 ○HP:https://www.minamitech.com/
- 事業内容:金型設計製作、精密部品加工、プレス加工
- 主要生産設備:マシニングセンタ、5軸加工機、複合加工機、ワイヤーカット放電加工機、形彫り放電加工機、プレス機、3次元測定器

事業計画名

検査工程における精度向上と時間短縮による生産性の向上、および受注の拡大



3次元測定器の導入による「検査精度の向上(誤差1/10,000mm)」と「検査時間の短縮」を実現することで、当社の高い加工技術を証明するとともに、受注機会を逃している精密加工部品の受注拡大を図る。

取り組みの背景

当社は自動車や航空機、通信機器製造業の顧客を主な対象に、金型設計製造や精密部品加工、試験品の製造を行っている。加工精度を向上させ、顧客との関係性を構築していった結果、年々受注は拡大しており、航空機等の高精度の加工を求められる分野でも重要部品の引き合いが増えている。加工技術としては対応可能であるが、現行の検査体制(測定精度5/10,000mm)では顧客の要望水準を満たしておらず、やむをえず失注している状況である。また測定器についても約20年前に導入した機器であり、操作を熟知した社員は1名しかおらず、また操作性がすぐれないため、工程のボトルネックになってしまう状況であった。これらの状況を解決し、最適な工程を実現するため、今回の事業計画を創出するに至った。

取り組みの目標

- 測定精度1/10,000mmの3次元測定器を導入する
- 加工者へ操作習熟させ、自ら検査ができるように工程を工夫する
- 検査工程を確立し、高精度を求められる製品を受注する

取り組みの内容

従来の測定器はインターフェイス(操作系)用の専用端末があり、設定値や操作を、キーボードを用いて数値で入力していた。データの蓄積もなく、測るものを変えるとまた設定値を入力しなおし、と業務効率に優れなかった。そのため、作業者が測定を希望して待機状態になり、工程が停滞するような状況もあった。今回の取り組みでは、測定器として検査精度が最も高いとされる3次元測定器(誤差10,000分の1mm(0.1μ))を導入する。測定器を使用して製品検査を実施した際には検査書を製品に添付し出荷することで製品の信頼性を向上させる。当社加工品だけではなく、外注加工へ出した製品の検査についても行う。これによりさらなる品質改善を目指す。また新規受注拡大のため、当該設備の導入を顧客に対して周知し、新規受注機会の拡大を目指す。測定に使用したデータは社内に蓄積をしていくことにより、検査に所要する時間の短縮や、トレーサビリティを実現し、顧客との関係強化につなげる。

同社の強み

- ・設計・プレス・金型・切削加工のすべてが自社内で可能
- ・豊富な設備を有しており、柔軟な生産体制を構築可能
- ・ロット生産から少数物まで、顧客の要望に応えられる社内体制がある

ポイント

加工作業者が自ら検査工程を行う



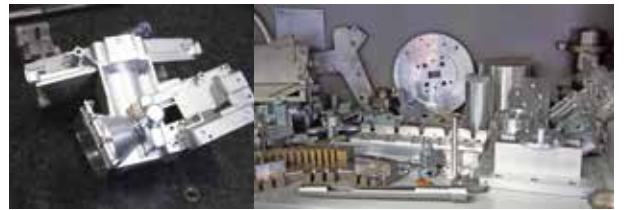
【3次元測定器】

従来3次元測定器を使用したい場合は、1名しかいない操作担当者(他作業と兼任)に依頼し、機器操作をして貰う必要があった。今回導入した機器では操作系がパソコンベースになり、操作習熟がしやすくなった。また同一の物品であれば以前の検査内容を記憶しておき流用するなど、利便性も向上している。今回の事業では、各作業者が隙間時間を活用し機器操作を学習、10名程度の加工作業者が自ら測定を行えるようにしていく。検査待ちによる工程の停滞を防ぎ、加工者が作業精度に疑問を持った際に自由に検査を行える環境を構築する事で、生産性向上と製品全体の加工精度を上昇させることができると考えている。

高精度検査工程で付加価値を向上させる

本事業の実施により、当社から他社へ外注加工依頼している部分についてもより精緻な検査実施が可能になり、受け入れ後の不良を削減することができた。またそれだけでなく、同程度の検査能力を有さない他社から、当社へ加工の依頼が来ることもあった。さらには、当社の導入している誤差10,000分の

1mm(0.1μ)の測定器は当社納品先や当社競合先でも所有していない場合もあり、顧客の依頼を上回る加工精度を実現できていることから、他社と競合をした場合に、同程度の単価であれば当社が質の面で優れているとみなされ、受注できるという効果があった。高精度な3次元測定器を使用しているだけでは価格への上乗せ効果はないが、歩留まり改善、受注の増加、競合案件での非価格競争要素などの点で当社の優位性を構築することには大きく寄与ができています。



【当社製品】

本事業計画実施後の将来像

尼崎という立地は、有力企業が市内に多くあるなど地理的優位性を発揮しやすい場所である。それ故当社創業以来当地で歩んできた。移転について望んでいるわけではないが、扱う製品のサイズなどによっては拠点の拡大等も検討をしていきたいとは考えている。ただし、規模を大きくすることが望みではなく、現在の人員数・体制を基盤として、若手社員に技術を習得させ多能工へなってもらうことで一人あたりの生産性を向上させ、より収益基盤の強化に努めたいと考えている。また新卒を含む若手人材を採用しているが、これを継続し、積極的に技術を習得するように推奨していくことで、魅力ある企業づくりに努めていく。

社長の声



株式会社ミナミテック
代表取締役 南 友広氏

顧客や社会へのお役立ちを考え、仕事に励む

これまでも顧客の期待に答えることで、当社にしかできない難易度の高い加工へ、常に挑戦してきました。その結果として当社の製品は、社会インフラの様々な部分で、メイド・イン・ジャパンを支える存在として使われています。我々の仕事は金属を加工して指定の形状にと言ってしまうかもしれませんが、働いている皆さんには今している自分の仕事がどのような最終製品になるか、またそれは社会にどのように役立つのかというのを考えてほしいと思っています。それにより自分たちの仕事の価値を理解し、やりがいのあるより良い会社を作っていきたいと考えています。